

# 平成23年度第1回荒尾市民病院あり方検討会議事録要旨

◇日時：平成23年10月14日（金）14時から15時40分まで

◇場所：荒尾市役所 2階 市長公室

◇出席者：【あり方検討会委員】・・・5名

小野友道氏（熊本保健科学大学学長）、高橋洋氏（荒尾市医師会会長）、下條寛二氏（株式会社近代経営研究所専務取締役）、池田洋一郎氏（有明保健所所長）、立石和裕氏（立石公認会計士事務所代表）

欠席：生野繁子氏（九州看護福祉大学看護学科長）、藤崎龍美氏（荒尾市社会福祉協議会会長）、鴻江圭子氏（荒尾市行政改革推進審議会）

事務局：【荒尾市】・・・10名

前畑市長、山下副市長、山崎総務部長、江上総務課長、橋本財政課長、浅田政策企画課長、松尾財政係長、吉田財政課副主任、田川政策企画課長補佐兼室長、林田政策企画課副主任

【荒尾市民病院】・・・6名

大嶋病院事業管理者、荒牧副院長兼事務部長、西村看護部長、近藤事務部次長兼経営企画課長、野村総務課長、中野医事課長

以上、出席者計 21名

## 1. 開会

浅田政策企画課長が開会を宣言。

## 2. 委嘱状交付

前畑荒尾市長から各委員へ委嘱状を交付。

## 3. 荒尾市長挨拶

荒尾市民病院は、平成20年度末には累積欠損金が42億円を超える非常に厳しい経営状況に陥ったが、委員各位の貴重な意見や助言により、平成22年度決算では最終利益が2億8,900万円となるなど、全般的に順調な滑り出しをしたところである。

しかしながら、昨年委員各位から頂いた点検・評価報告書にもあるように、医師や看護師の確保、経営効率化の重要指標の改善、新病院等の建設に向けた検討など、様々な課題が存在するため、今後も病院と行政、そして市民が一体となって取り組んでいきたい。

## 4. 荒尾市民病院事業管理者挨拶

荒尾市民病院あり方検討会が設置されてから3年目を迎えるが、これまで委員各位の提言を真摯に受け止め、地域に根差した医療を行うために経営基盤の改革を図ってきたところである。今後も、あり方検討会の検証をいただき、更に精進していきたい。

## 5. 会長及び副会長の選出

荒尾市民病院あり方検討会設置要綱第6条第1項の規定により、小野委員を会長に、高橋委員を副会長に選出し、同要綱第7条第1項により会長が議長となり、議事を進行した。

## 6. 会長挨拶

これまでの2年間で、委員各位から活発な討議をいただいていたところであり、今後も本検討会が、荒尾市民病院に資することを期待するところである。市民病院及び市当局の努力により、経営改善に向かっていると感じており、このまま荒尾市民病院が良くなることを願う。

## 7. 検討事項

### (1) 平成22年度決算及び平成23年度の収支状況について

荒尾市民病院近藤事務部次長から、平成22年度荒尾市民病院事業会計決算の内容及び平成23年8月末時点における収益的収支や主な経営指標の状況について説明が行われた。

(主な意見)

○入院患者数が増加傾向にあるのは、何かしらの対策を講じたことにより、他の地域に流出していた患者が戻りつつあるということか。

→病床利用率の向上を図るため、看護部長を筆頭とした対策チームを組織しており、亜急性期病床の利用率向上へ向けた取組み等を行っている。重要業績評価指標の病床利用率や平均在院日数については、目標を未達成という状況だが、現在は病床利用率の向上に重点を置いて取り組んでいる。

○医師や看護師の確保のために奨学金制度が設けられているが、奨学生と面会する機会は設けているか。奨学生の段階からコミュニケーションを図ることが、将来的にも重要なことだと思われる。他団体では、面会の席上で奨学金支給の方法を行っているところもある。

→奨学金の支払いについては口座振込で対応しているが、市民病院との連帯感を築くため、市民病院広報紙を毎月送付しており、必要に応じて電話連絡等を行っている。また、今後、奨学生との連帯感を更に強めるためにも、学校の夏休み期間中に市民病院の見学会等を通じて親交を図ることを検討している。

### (2) 荒尾市民病院中期経営計画の実施状況に関する点検・評価について

荒尾市民病院近藤事務部次長から、平成22年度荒尾市民病院中期経営計画計画評価調書に基づく各項目等の達成状況について説明が行われた。

(主な意見)

- 平成 22 年度末時点で、医師 2 名（脳外科、小児科）の増員が図られているが、内科医師の増員予定はあるか。また、医療クラークはどのような業務を担っているのか。  
→来年度から荒尾出身の内科医師が 1 名、市民病院に来られる予定である。また、医療クラークについては、生命保険の手続きに係る診断書の作成支援や、回診時の医師のサポート等を行っており、医師の事務負担軽減に繋がっている。
- 全体的な人件費率を把握するためには、人件費と併せて、外部委託費に含まれる人件費相当額についても同時に管理する必要があると思われる。  
→平成 21 年度から、委託費の内、非常勤職員のな性質を有する委託内容については、人件費とみなして積算を行っているところである。
- 医療機器の購入が抑えられているが、高度な医療を提供するためには、高額な医療機器が必要となってくる。現在、市民病院に配備されている高額医療機器の稼働率と収益の関係はどのようになっているか。  
→機器の導入に当たっては、費用対効果を事前に検証するものの、病院の魅力を向上させるためにも、政策的に導入が必要な機器も存在する。例えば、平成 24 年度から稼働予定のリニアックについては、費用対効果は薄いものと見込まれるものの、地域医療の観点からは必要な機器だと認識している。

### (3) 平成 22 年度荒尾市民病院の経営分析について

立石委員から、平成 22 年度決算状況に関する経営分析結果の説明が行われた。事業収支項目の内、裁量的項目の改善傾向が見られるものの、医業収益の増収分と材料費を比較すると、材料費については改善の余地があると考えられる。

(主な意見)

- 材料費が増額している要因や、その対策としてどのようなことが考えられるか。  
→血液治療や外科、がん治療などの件数が増加傾向にあり、特に、がん治療に当たっては抗がん剤等の高価な薬品を使用するので、材料費の増加に繋がったのではないかと見込まれる。今後、これまで高価であった薬品が期間経過によりジェネリック医薬品として普及する予定なので、これを活用することで材料費の抑制を図っていきたいと考えている。
- 経営分析を通じて、市民病院として全体的にどのような感想を持ったか。  
→荒尾市という人口 5~6 万人の自治体において、平均在院日数と病床利用率のバランスを保つことが難しいという印象を持っている。特に冬場は、平均在院日数短縮を図るために民間の有床病院へ転院しようと思っても受入先が少ないという課題がある。

- 荒尾市民病院には、地域の中核病院として急性期医療に特化し、地域と連携して包括的なケアを行う体制の構築に向けて取り組むことを期待している。また、市民病院職員の給与についても、民間病院とは大きな格差があり、特に有床病院に向けて医師の増員を図ろうと思っても、給与バランスの面から困難な場合がある。
- 病院経営の観点からは、平均在院日数の短縮化に努めることが難しい面があるのではないかと見込まれるが、入院単価が上昇しており、治療内容が充実したものになっていると見込まれるので、経営戦略として考えた場合には、新病棟の建替えも将来的な視野に入れながら、利益を出すことに重点化を図ってはどうか。また、職員給与の格差として、公立病院は民間病院に比べて、看護師の給与が高く医師の給与が低いという傾向があるため、医師確保の観点から、医師の給与を上げることも考えられる。なお、医薬品の費用が減少していないが、他の病院では、共同購入を通じて費用を抑制している事例もあるため、SPD（診療材料の一括供給方式）の効果も検証しながら検討してはどうか。
- 抗がん剤などについては、新薬は治療面で効果が期待できるものの高価で値引き率が低いという課題がある。当院は医薬品の値引き率は全国平均より高いものの、まだ改善の余地があると考えている。なお、手術材料などは、医師の志向に合わせて導入するものが多く、医師のモチベーションを保ちながら材料費削減に取り組むことは難しい面もある。
- 材料費抑制のためにも、医薬品の共同購入は着手しやすい分野だと思われる。また、民間の有床診療所は荒尾市民病院のベッドの一部だと思って、積極的に地域医療機関との連携を図っていただきたい。
- 再編・ネットワークの観点からは、有明医療圏として、荒尾市民病院から玉名中央病院へ産婦人科医師の派遣が行われるなど、一定の連携が図られている。現在は、一つの病院で全ての科目を担うことは困難なので、各病院が得意分野を活かしながら連携を図ることで、ネットワーク化に繋がるのではないかとと思われる。
- 産婦人科は荒尾市民病院がセンターとして週2回受け入れを行っている。また、大牟田市の天領病院は、外科医が2名で麻酔医が在籍していないため、緊急手術を要するときは荒尾市民病院を紹介していただいている。逆に、呼吸器については、当院から天領病院や玉名中央病院を紹介しており、分野毎に連携を図りながら取り組んでいる。
- 新病院棟の建設に向けてはどのような構想を持っているか。
- まずは経営改善を図りながら、建設へ向けた機運を醸成したい。

## 8. その他

浅田政策企画課長から、今後の予定として、11月下旬に第2回検討会を開催する旨の説明が行われた。なお、本日の議事録については、事務局で議事録要旨（案）を作成し、各委員が確認を行ったうえで、荒尾市ホームページに公開することを予定している。

## 9. 閉会

小野会長が15時40分に荒尾市民病院あり方検討会の閉会を宣した。

以上